

公演名：

演出：

美術：

照明：

音響：

舞台監督：

2023. 10. 01 Ver

客席数：230席(基本客席形状)

舞台：  
間口11間(20320mm壁から壁まで)  
奥行き5間(9250mm奥壁まで)

バックバトン(一定速)：  
耐荷重300Kg 東側1本

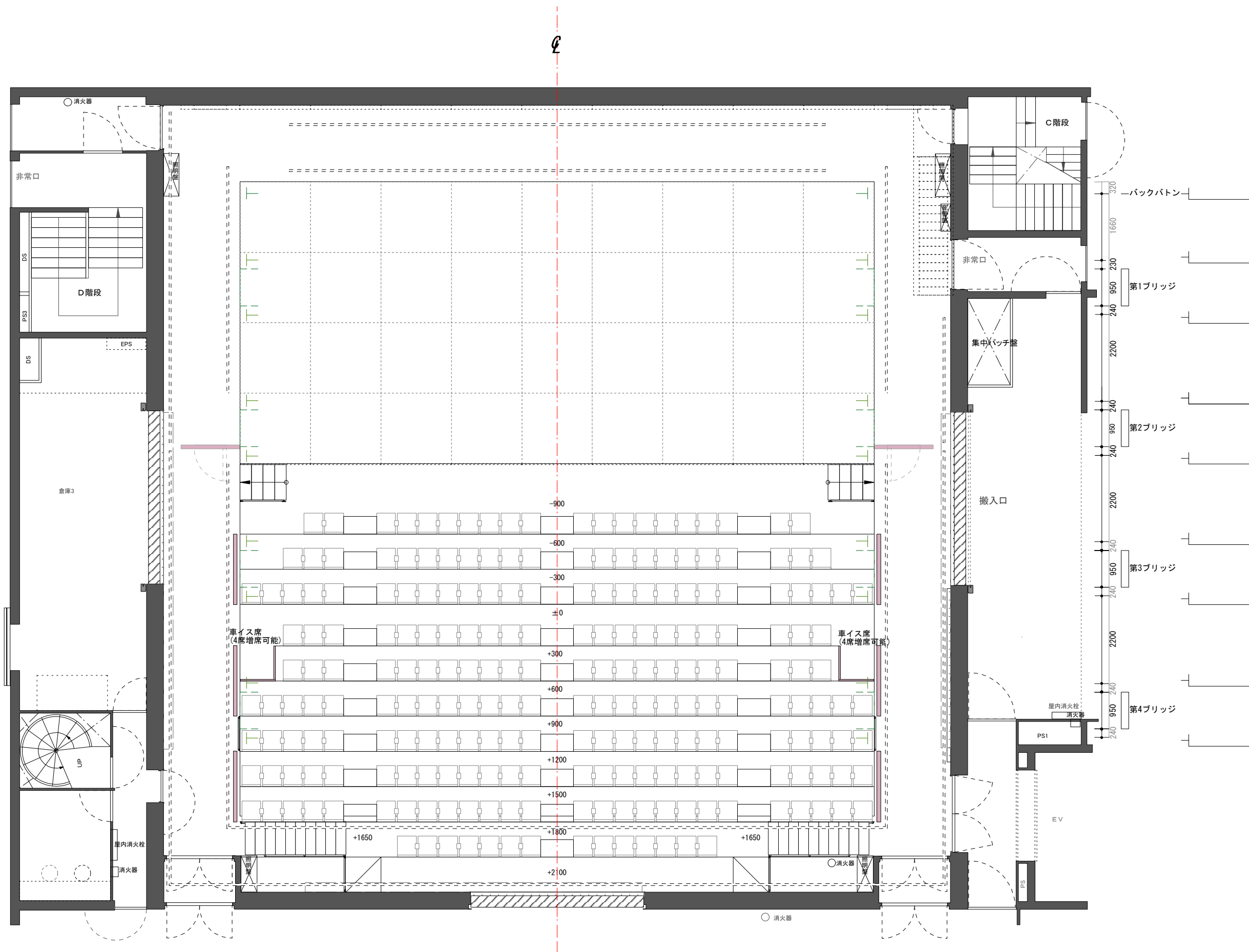
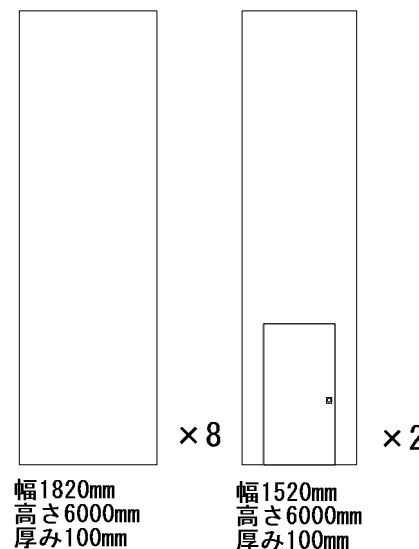
点吊装置：  
耐荷重300Kg 16台

可動パネル：レール走行式

舞台床：  
1820mm×1820mm  
(スチールデッキ束立て)

客席床：  
1820mm×900mm  
(アルミデッキ束立て)

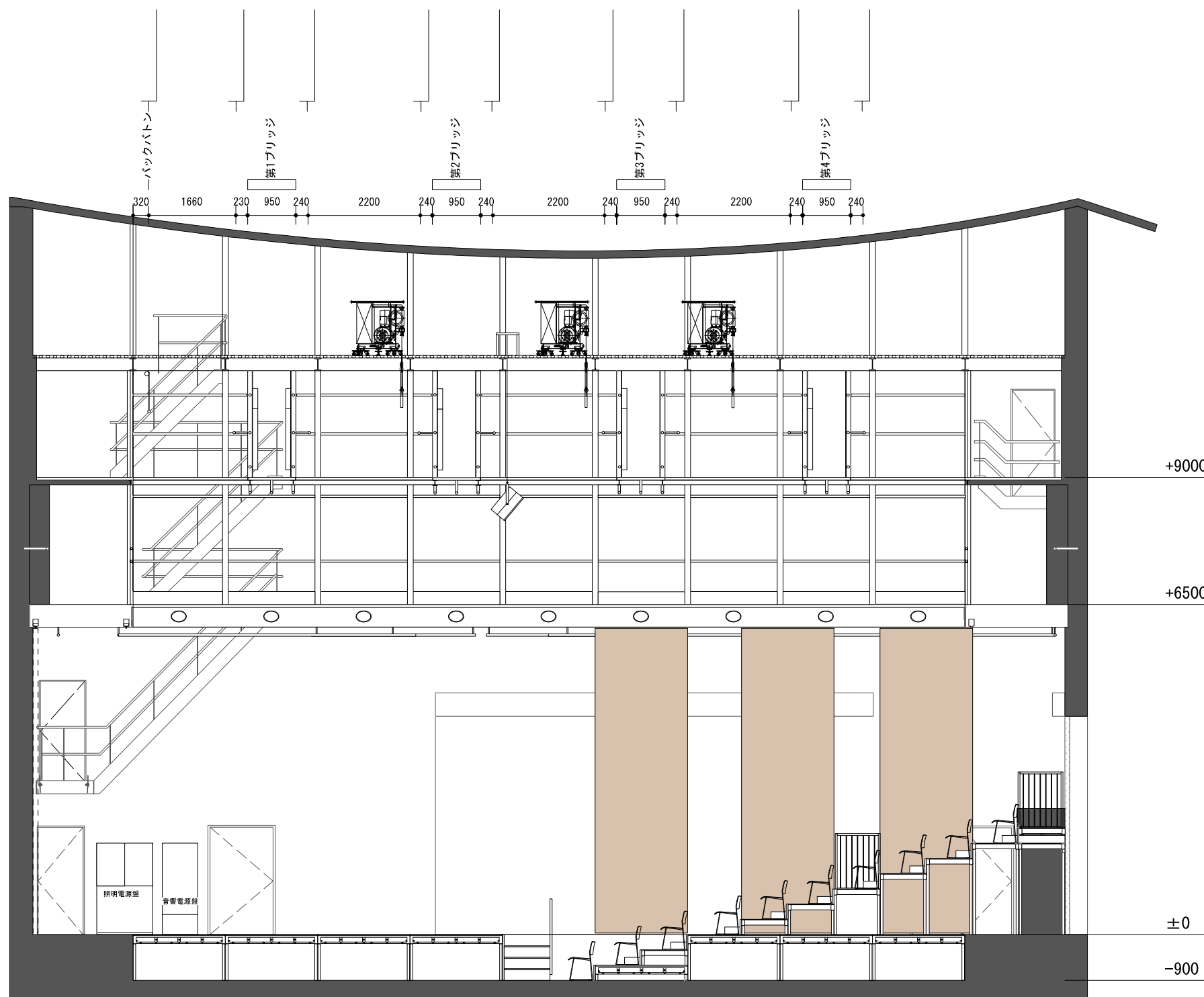
可動パネルサイズ



ホール1 基本舞台 断面図

単位：S=1:100

公演名：  
美術：  
照明：  
音響：  
舞台監督：



客席数： 238席(基本客席形状)

舞台：  
間口6間(袖パネル使用時)  
奥行き3間5尺(バックバトンまで)

バックバトン(一定速)：  
耐荷重300Kg 1本

点吊装置：  
耐荷重300Kg 16台

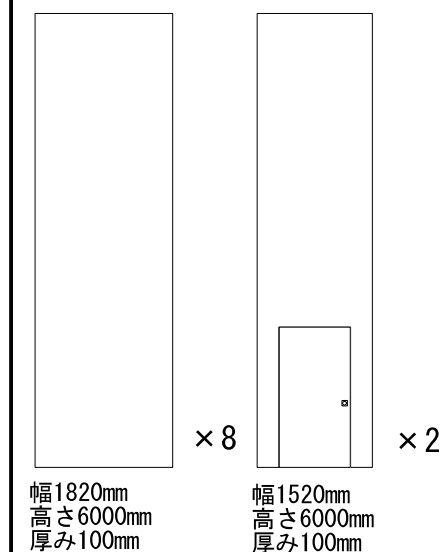
袖幅： 9尺

可動パネル：レール走行式

舞台床：  
1820mm×1820mm  
(ステージデッキ東立て)

客席床：  
1820mm×900mm  
(ステージデッキ東立て)

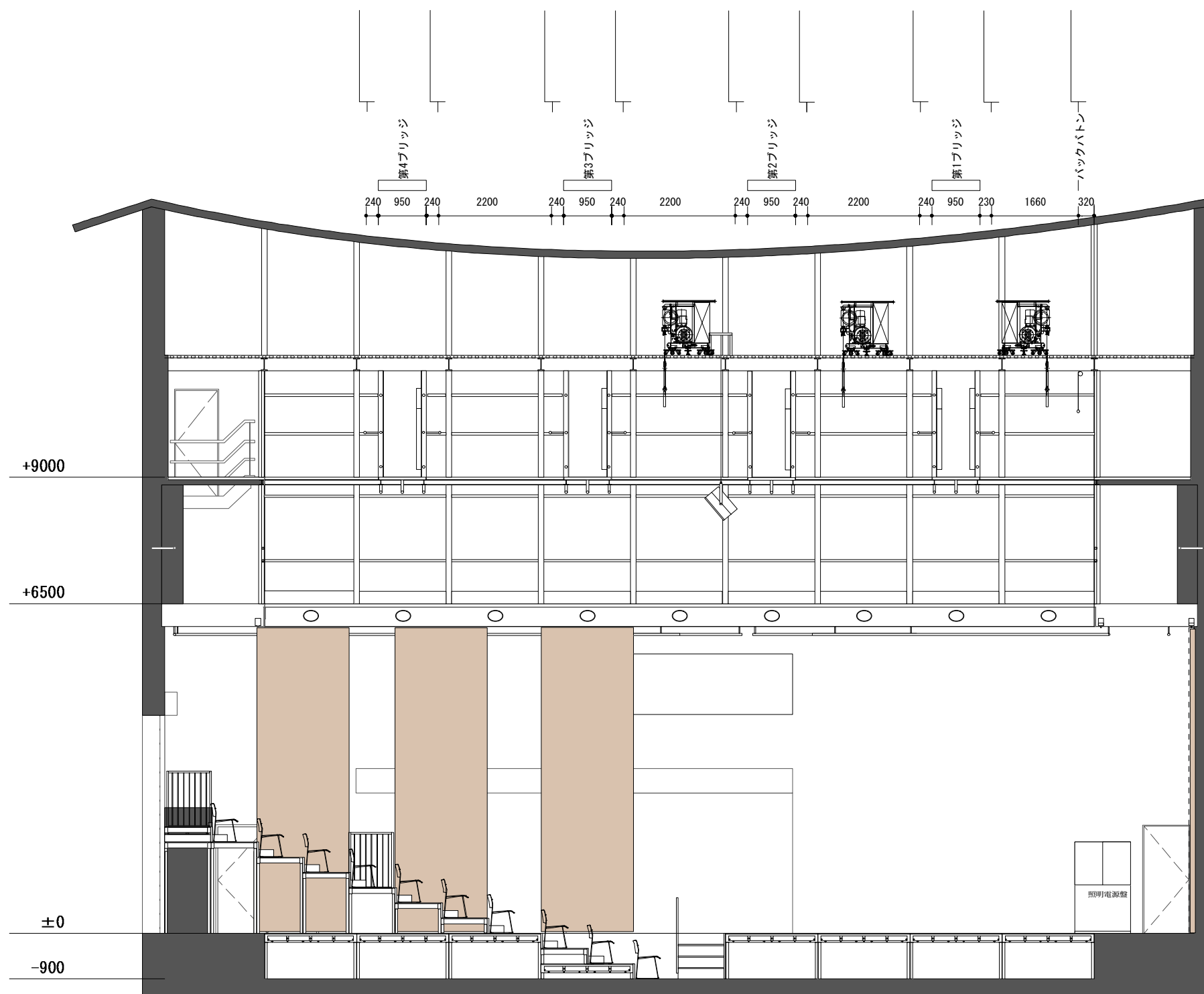
可動パネルサイズ



ホール1基本舞台北側 断面図

単位 : S=1:100

公演名 :  
美術 :  
照明 :  
音響 :  
舞台監督 :



客席数 : 238席 (基本客席形状)

舞台 :  
間口6間 (袖パネル使用時)  
奥行き3間5尺 (バックバトンまで)

バックバトン (一定速) :  
耐荷重300Kg 1本

点吊装置 :  
耐荷重300Kg 16台

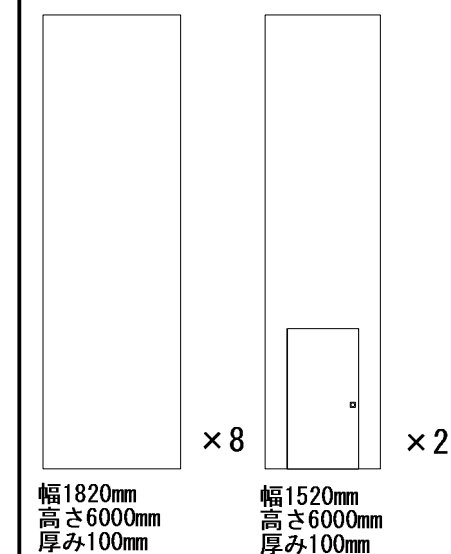
袖幅 : 9尺

可動パネル : レール走行式

舞台床 :  
1820mm × 1820mm  
(ステージデッキ束立て)

客席床 :  
1820mm × 900mm  
(ステージデッキ束立て)

可動パネルサイズ



S=1:100

単位 :

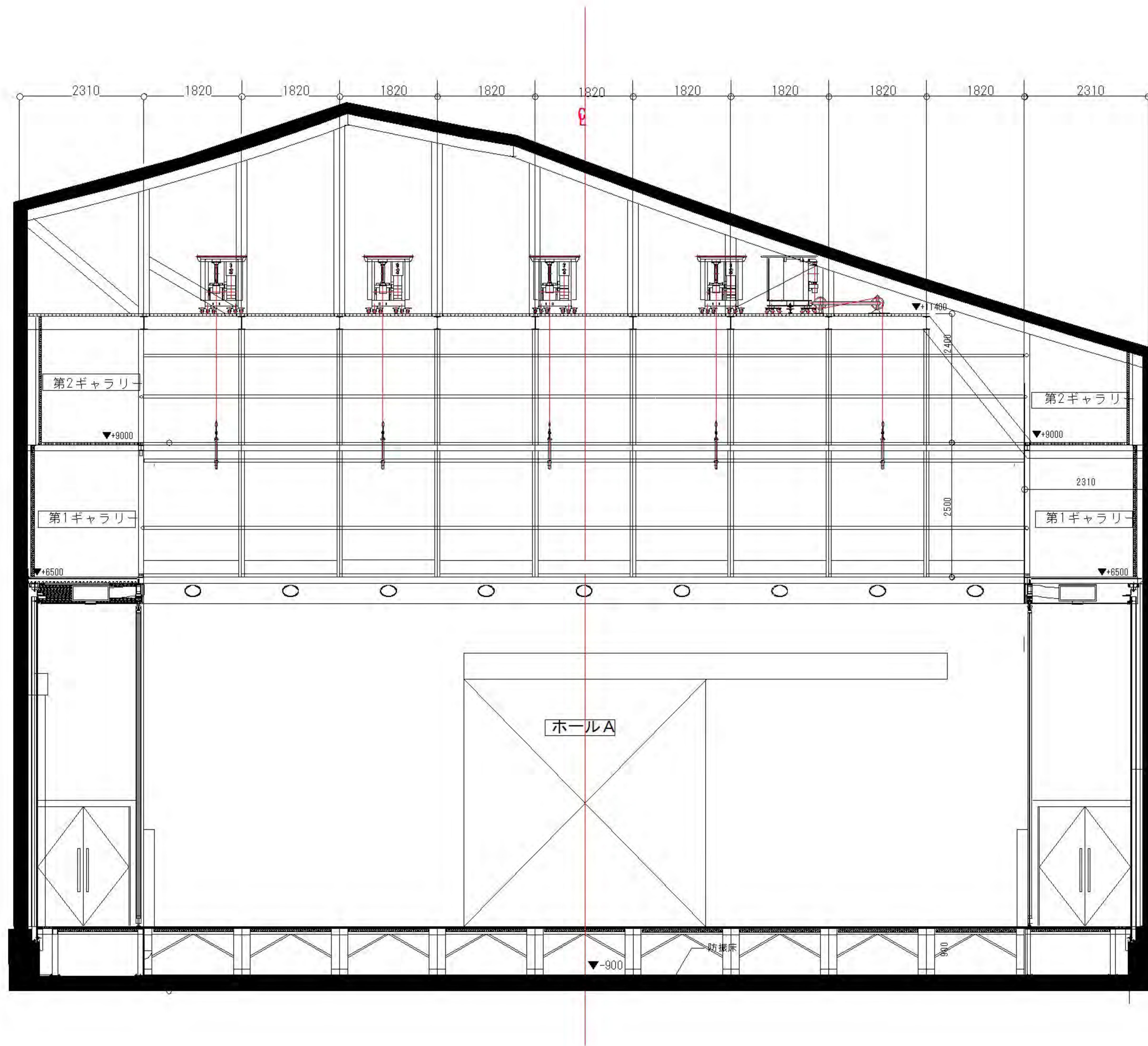
公演名 :

美術 :

照明 :

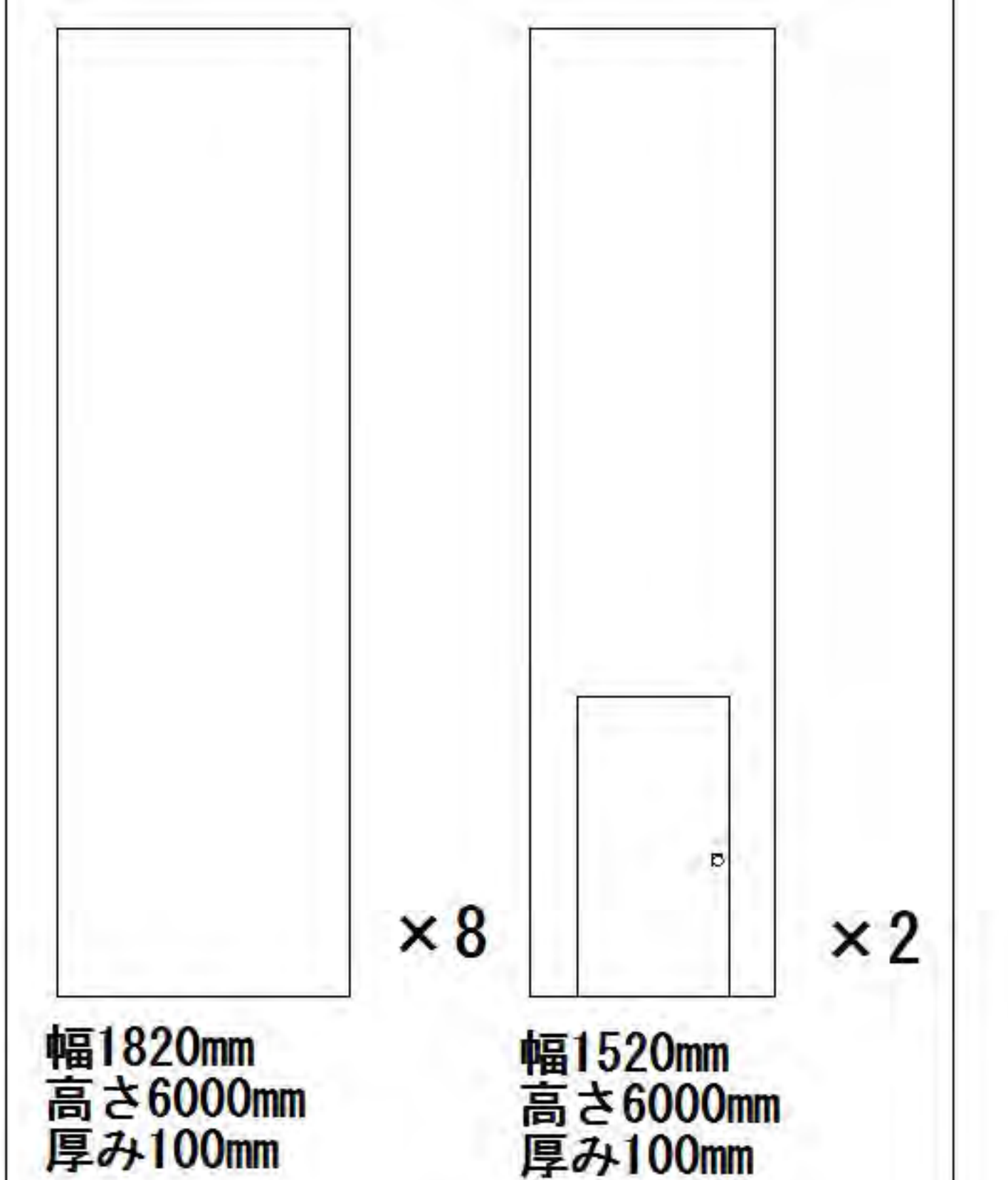
音響 :

舞台監督 :



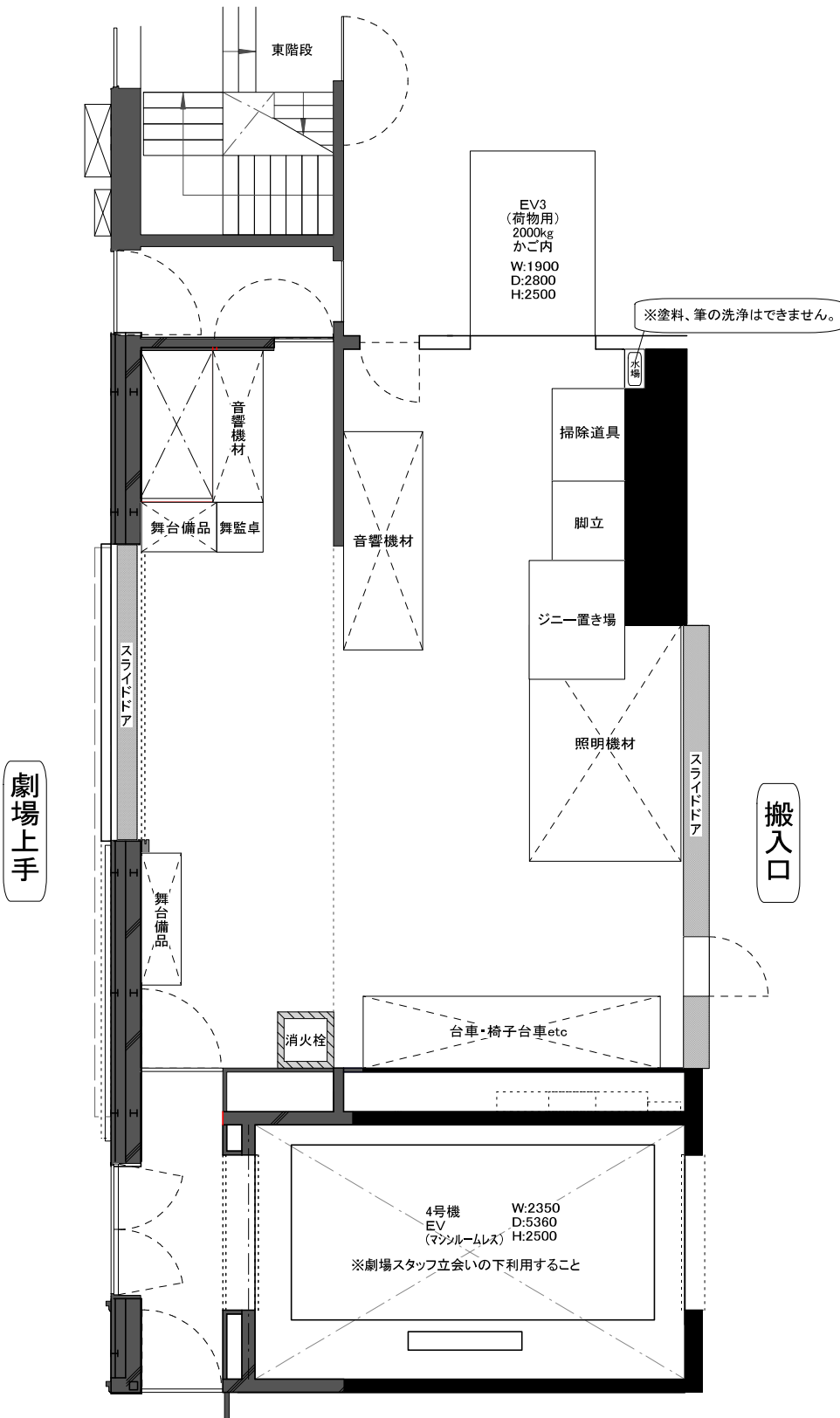
- 客席数 : 238席(基本客席形状)
- 舞台 :  
間口6間(袖パネル使用時)  
奥行き3間5尺(バックバトンまで)
- バックバトン(一定速) :  
耐荷重300Kg 東・北各1本
- 点吊装置 :  
耐荷重300Kg 16台
- 袖幅 : 9尺
- 可動パネル : レール走行式
- 舞台床 :  
1820mm×1820mm  
(ステージデッキ束立て)
- 客席床 :  
1820mm×900mm  
(ステージデッキ束立て)

可動パネルサイズ

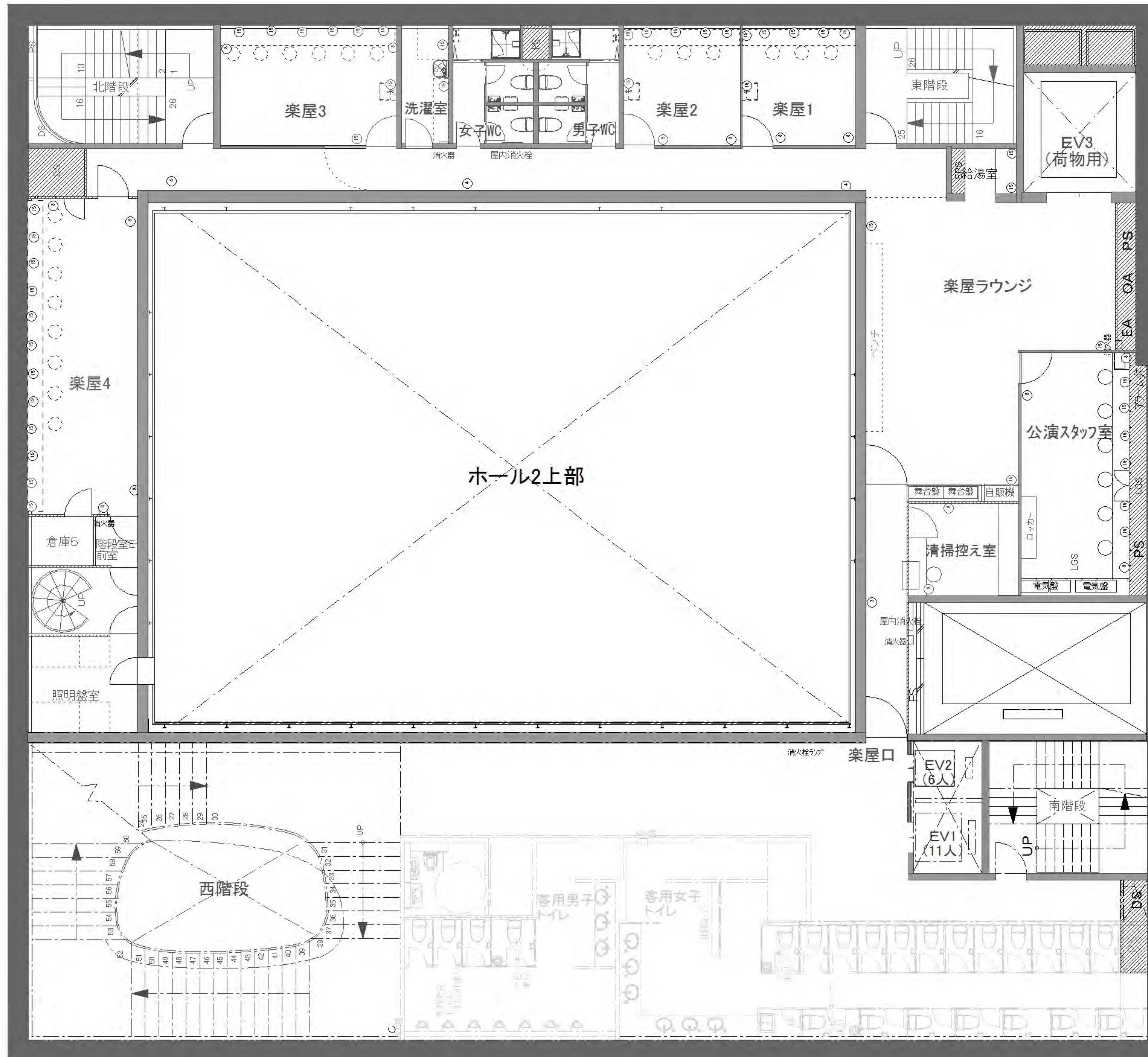


公演名 :
演出 :
美術 :
照明 :
音響 :
舞台監督 :

2021.02.14 Ver



# B1F 座・高円寺 1 楽屋見取り図



**楽屋 1** (約 11㎡) W3. 32 \* D3. 37  
 化粧前 3~5名 椅子 背付き 3脚  
 ツール 1脚

コンセント 化粧前 15A-5口  
 洗面台 15A-1口  
 壁 8A-2口

**楽屋 2** (約 11㎡) W3. 39 \* D3. 37  
 化粧前 3~5名 椅子 背付き 3脚  
 ツール 1脚

コンセント 化粧前 15A-5口  
 洗面台 15A-1口  
 壁 8A-2口

**楽屋 3** (約 17.5㎡) W5. 15 \* D3. 42  
 化粧前 6名 椅子 背付き 6脚  
 ツール 2脚

コンセント 化粧前 15A-6口  
 洗面台 15A-1口  
 壁 8A-2口  
 15A-1口

**楽屋 4** (約 29㎡) W9. 24 \* D3. 2  
 化粧前 8~9名 椅子 背付き 9脚  
 ツール 3脚

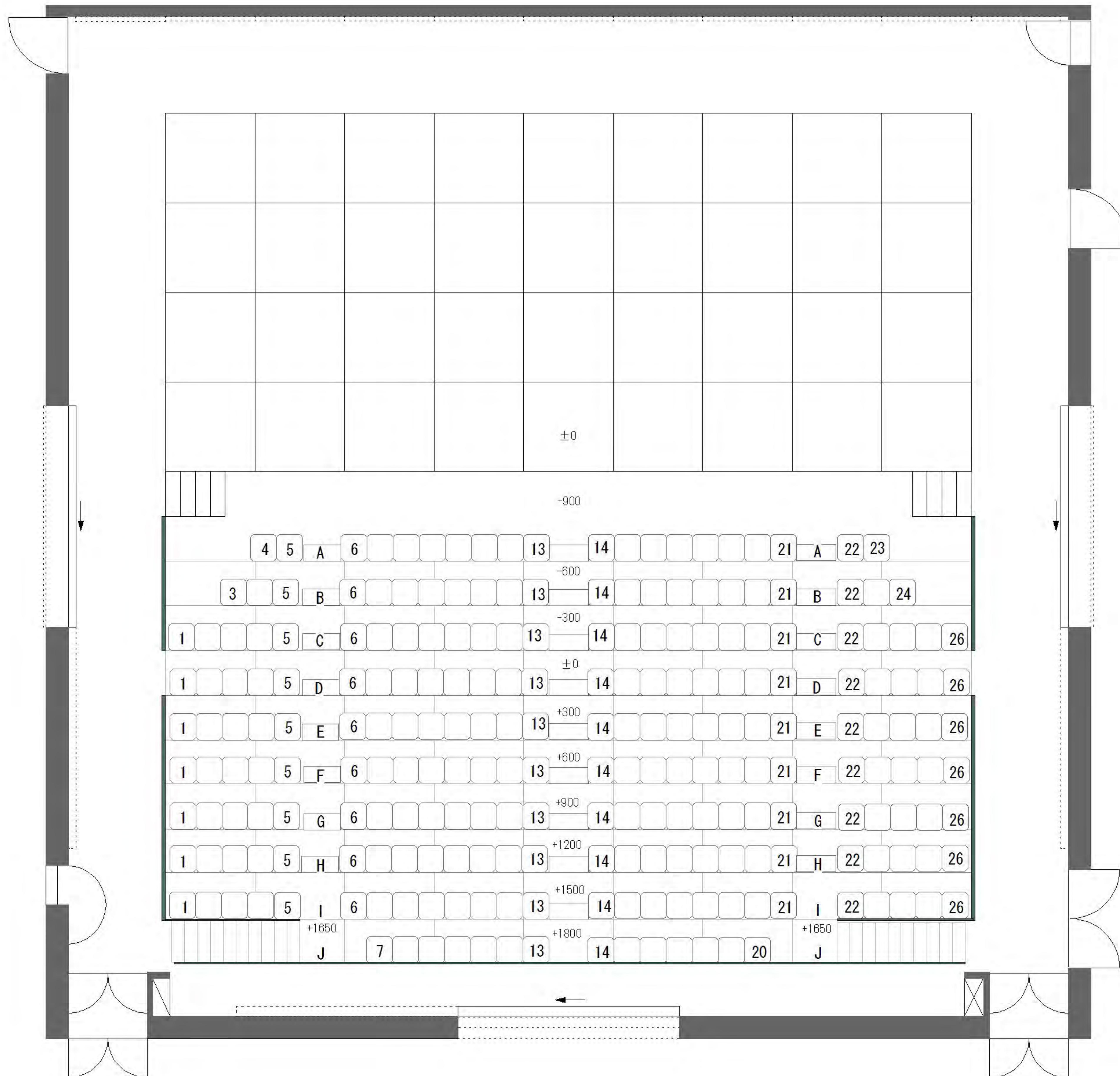
コンセント 化粧前 15A-12口  
 洗面台 8A-1口  
 壁 8A-3口

**公演スタッフ室** (約 20㎡) W6. 6 \* D3. 1  
 化粧前 6名 椅子 背付き 6脚

コンセント 化粧前 15A-6口  
 洗面台 8A-1口  
 壁 8A-2口

**洗濯室** 洗濯機 \* 2

238席



## 安全に劇場をお使いいただくために

### ご利用に関する注意事項（座・高円寺1）

座・高円寺の技術スタッフは、原則として、安全管理並びに付帯設備の取扱い説明を行います。劇場への機材搬入出・公演に関わる作業は利用者側で行って下さい。また、舞台監督は以下の内容を関係者各位に周知をお願いいたします。

#### 《稽古場・作業場》

- 稽古で使用する機材や道具を持ち込む際は事前に劇場スタッフにご相談ください。また、稽古場で劇場備品をお使いになられる際も事前にご相談ください。他施設との共有備品はご利用いただけない場合もございます。
- 搬入出用のエレベーター(W:2350 D:5360 H:2500)は他施設共有です。搬入出は事前にお知らせください。
- 廊下・共有部分は避難動線です。お持ち込みいただいた機材や道具は、稽古場内または所定の場所に収まるように調整をお願いいたします。
- 作業場をご利用の際は前日までに「使用申請書兼許可書」を劇場制作担当者にご提出ください。
- その他の注意事項は、劇場制作担当者からお渡ししている、「劇場内施設のご利用について」という資料をご確認ください。

#### 《事前の準備・打ち合わせ》

- 舞台図面、タイムテーブルなどの資料一式を提出し、必ず事前に機構担当と打ち合わせを行ってください。特記事項がある場合は、添付の資料を用意するか図面に記載するなどお願いします。

※ブリッジ・ギャラリーでの作業（照明吊りこみ・フォーカス・吊り替え作業・幕やスピーカーなどの仕込み）と、直下での同時並行作業はできませんので、タイムテーブル作成時は考慮してください。

※ホール1、2の共有備品については、事前に調整が必要です。必ずお問い合わせください。

#### 《消防署への申請について》

- 杉並消防署より、本火・油性スモークを使う際は、1か月以上の余裕をもった申請を案内されております。その他消防署への届け出が必要な危険物使用に関しては、機構担当もしくは消防署へご確認ください。
- 2020年4月より東京都の受動喫煙防止条例により、舞台上でのたばこの成分を含むものの喫煙はできなくなりました。ニコチン、タール等の成分を含まない薬用タバコや加熱式たばこを使用の際は、「禁止行為解除申請書」に記入のうえ、機構担当への確認後、2週間前をめぐりに消防署に提出してください。水蒸気を出すリキッドタイプの電子タバコは解除申請の必要はありません。

#### 《客席についての注意》

- 演出上、客席通路に機材を設置する場合は避難経路確保のため機材と客席の間に1m以上の間隔が必要ですので通路幅にご注意ください。
- 上演中、舞台と客席の昇り降りをするために階段を使用する場合は、通路確保のために客席を取り外す必要があります。制作を含めた早めの打合せをお願いします。



- 客席内の一部を演技エリアとして使用する際は、事前に機構担当者にご相談ください。消防法や安全管理上の問題で許可できない場合があります。
- 客席内に撮影機材を設置する際、お客様の動線を横切るケーブルの引き回しはできません。また三脚を立てる場合は、通路及び階段に三脚がかからないよう客席内にスペースを確保してください。
- 仕込みやリハーサルを問わず客席での飲食は禁止です。搬入口スペースや楽屋でお願いします。また座面保護の為、工具、機材等を客席座面に置かないでください。

### 《搬入出》

- 各セクションとの打合せを入念にいただき、無理のない荷捌きをお願いいたします。
- 劇場正面の駐車スペースは、搬入出に関わる車両のみご利用いただけます。留置きはできませんので、搬入出完了後は近隣駐車場などへ移動してください。
- 搬入用エレベーターをご利用の際は、劇場担当者が操作を行いますのでお声がけください。

### 《仕込み・バラシに関する注意》

- 仕込み初日の作業開始前に全体で朝礼を行います。作業にかかわる方は全員参加してください。
- 仕込みやバラシ中にホール内に入る際は全員ヘルメットの着用をお願いいたします。貸出用ヘルメットのご用意もありますが、可能な限りご持参ください。
- スチールデッキを扱う作業は、安全の為、足を保護できる靴などを使用してください。かかとのない靴や、雪駄・サンダルは禁止です。
- バトン・トラスの昇降時には安全確保の為、下を通らないでください。また昇降時は安全確認を行ってください。
- 壁・床面及び箱馬や平台などへのガンタッカー・ビスの使用は原則禁止です。また、幕へのテープ止めはご遠慮ください。
- 舞台床面へのガムテープ・両面テープ・養生テープは床面を傷めてしまうので、リノリウム用テープもしくはビニールテープなどを使用してください。使用可能なテープであっても剥す時はご注意ください。
- 舞台床面及び劇場リノリウム上では、松脂を使用できません。持込みのリノリウム上で松脂を使用する場合には楽屋から舞台への経路を養生するか、舞台袖で履物を履き替えてください。また白塗り・金粉に関しても床面は同様ですが、さらに壁・幕類を含めて養生してください。
- バトン・トラスにパネルや大道具を吊り下げる場合、バインド線・糸・ビニール紐等は使用できません。ワイヤーかケプラー入りロープ等、耐荷重を十分検討した上で使用をお願いします。
- 水、土、砂、それに類する粉、液体等の使用については事前に打ち合わせをお願いします。場合によっては終演後に舞台機構・照明・音響・客席及び各フロア等のメンテナンスを行っていただきます。
- 劇場内で色塗りをを行う場合には、必ず作業場所と養生の確認をしてください。
- 塗料スプレーの使用は壁や幕類、劇場備品に付着するため舞台・搬入口・楽屋などでは使用できません。B3階にある作業場1内のスプレーブースでのみ可能です。機構担当にお声がけください。

- 高速カッターを使用して金属の切断作業等をする場合は、防災ベニヤ・防災シート等を敷いてください。
- 舞台装置・背景幕等は防災加工処理をお願いします。
- 公演初回前に客席清掃を行います。30分程度時間を確保してください。

### 《高所作業について》

- ギャラリー、ブリッジでの作業がある場合は、機構担当の立会いのもと作業をしてください。
- すのこ、ブリッジ、ギャラリーなどで高所作業を行う場合は必ず自身の携帯品に落下しそうなものがないことを確認し、安全帯を装着の上、作業を行ってください。
- ブリッジ、ギャラリーでの作業（照明吊りこみ、吊り替え作業・幕やスピーカーなどの仕込み）と、直下での同時並行作業はできません。高所作業をする方は下にいる人に必ず声を掛けてから作業を始めてください。
- シュート時も同様に直下での同時並行作業はできません。シュートに関わる方のみ立ち入りが可能ですので、事前に作業の段取りを各セクションでご相談ください。
- 安全確保のため、一つのブリッジで二つ以上のセクションが同時に作業しないでください。
- 脚立を使用する際は、高さを問わずヘルメットを着用し、下で補佐（脚立支え）をする人を1人付けて使用してください（補佐する人もヘルメットを着用）。
- 高所作業台（ジニー）を使用する際は、劇場担当者に操作方法を確認し、ヘルメット及び「墜落制止用器具」を使用して下さい。また、下で補佐をする方もヘルメットを着用してください。
- 足場（イントレ）組立及び解体・変更の作業については特別教育の修了証を持っている方に限ります。法令により高さが5m以上の足場を組む作業を行うときは「足場の組立等作業主任者技能講習」の修了証の取得者が必要になります。※足場（イントレ）を組まない作業員は特別教育の受講は必要ありません。

※2022年1月より厚労省労働安全衛生法施行令の改正により、「安全衛生特別教育」を受講取得し、基準を満たしたフルハーネスを着用した方のみギャラリー・ブリッジでの作業が可能になります。座・高円寺では作業に慣れていただくため2021年度もフルハーネスを使用しての仕込みを推奨しております。2022年を見据えたスケジュールリングなどをご検討ください。（2021年1月更新）

### 《バラシ》

- 楽日前日までにバラシミーティングを行います。それまでにおおまかなバラシの段取りを考えておいてください。
- 終演後、フロントスタッフが客席に埃除けのカバー掛けを行います。完了まで客席上空でのバラシ作業はお待ちください。
- 劇場内、使用した劇場備品、機材は原状復帰をお願い致します。復帰については劇場機構担当者とともに確認しながら行ってください。

## 《その他》

- 退館時バッテリー等を充電したまま帰ることは、充電中に発火した事例が有ることから禁止させていただきます。充電時間が足りない場合は持ち帰って充電するか、入館を早めるなどの対応をお願いします。また、舞台・楽屋などの不滅電源をご利用の際もコンセントを抜いて退館してください。

仕込み・バラシ時はブリッジ等高所作業も含め技術部が立ち会い、各作業の安全確認をします。シュート作業終了をめぐりに技術スタッフは立ち会いを離れます。以降は舞台監督の責任で上記を守り安全に作業を行っていただきますようご協力をお願いします。

**ご不明な点や、記載のない事項については機構担当までご相談ください**